

WTW行動規範

当社の価値観で明日を変える

社員の皆さんへ...



WTWでは、価値観が言葉以上の意味を持ちます。それは、私たちがどのように働き、互いに接するかを具現化するものです。私たちの下す決断は、強いお客様志向、チームワークの重視、揺るぎない誠実さ、相互の尊重、常に高い卓越性を目指す姿勢によって導かれています。WTWの価値観は、当社の豊かな歴史の中核であり、私たちの力強い未来にとって欠かすことができません。

行動規範(または「規範」)が重要である理由は、当社の価値観を反映し、私たち一人ひとりが模範を示すことが期待されている倫理的行動、つまり、すべてのステークホルダーの利益のためにWTWを最高の会社にするための行動について詳述しているためです。

この規範の特定のセクションが、仮にあなたの役割には当てはまらないとしても、この規範を読んで熟考してください。質問がある場合や、規範への違反通報をする必要がある場合は、ピープルマネージャーに相談するか、リストに記載されている他の報告・通報リソースを利用してください。

この規範の規定を遵守することで、私たちは同僚、お客様、株主、地域社会、サプライヤーに対し、私たちが自分たちの価値観を基礎としてビジネスを遂行していることに誇りをもっていることを実証できます。

日々、皆さんが当社の価値観を実践し、規範に従って行動することで、当社のビジョンの具現化に貢献してくださっていることに感謝します。

カール



当社の価値観

当社の価値観は、私たちの文化や行動を導く、中核となる信念です。

お客様重視

私たちは、お客様の成功に貢献することに力を注ぎます。すべての対話、すべてのソリューションにおいて、私たちはお客様の最善の利益のために行動します。そのために、お客様のニーズを理解し、お客様の視点を尊重し、その期待を上回るよう努めます。

チームワーク

社員一人ひとりが、当社全体を代表しています。部門、地域、職務の境界を越え、連携して業務を行うことで、私たちは革新的なソリューションと世界水準のアドバイスをお客様に提供します。私たちは、互いに協力し合うことで成功を収め、より多くの価値を創出します。

誠実性

お客様が当社に投資するのは、時間とお金だけではありません。信用も投資しています。私たちは、プロ意識を持って、正しいことを行い、真実を伝えることで、日々その信頼に応えるよう努めています。私たちは、自らの行動と結果について、お客様、株主、規制当局、互いを含む、私たちが関わる組織や人々に対し説明責任を負っています。

敬意

私たちは互いに耳を傾け、互いから学びます。私たちは、互いの持つ違いに敬意を表し、それを尊重すると共に、包括的な文化を育み、開放性、誠実性、そして疑わしい点も好意的に解釈して行動します。公平さや良識を持ったよき市民として、社内外における人間関係を構築し管理します。

卓越性

私たちは、他をリードするよう奮闘し、卓越した存在であり続けます。最も重要なことは、従業員の一人ひとりが、専門家としての能力開発および個人としての成長に対して揺るぎないコミットをすることです。社員それぞれが、専門知識や能力、専門家としての見識をさらに深める責任を担う一方、当社も、そうした継続的な成長を可能とする各種ツールおよび機会に投資を行います。ビジネスにおいて、私たちはイノベーション、品質、およびリスク管理においてたゆまず注力将继续します。

目次

社員の皆さんへ...	i	地域社会へのコミットメント	19
当社の価値観	ii	贈収賄や不正行為の回避	20
<hr/>		贈答品や接待のやり取り	22
規範へのコミットメント	1	制裁と輸出規制への対応	23
規範の使用	2	マネーロンダリング防止 (AML) とテロ資金供与防止 (CTF)	24
声を上げる	3	責任ある政治参加	25
規範の管理	4	人権の支援	26
倫理的な意思決定	5	脱税促進行為の防止	27
<hr/>		<hr/>	
互いへのコミットメント	6	WTWへのコミットメント	28
互いを尊重する職場の維持	7	個人の利益相反の管理	29
差別の回避と平等な雇用の促進	8	正確な記録の維持と完全な情報開示の準備	30
インクルージョンとダイバーシティのサポート	9	機密・専有情報の保護	31
健康、安全、安心の提供	10	責任ある証券取引	32
<hr/>		会社資産の使用	33
お客様へのコミットメント	11	責任あるコミュニケーション	34
組織間の利益相反の管理	12	ソーシャルメディアの利用	35
報酬の開示	13	<hr/>	
公正な競争への支援	14	免責事項・ポリシーに関する問い合わせ	36
競合他社情報の収集	15		
法令遵守についての理解	16		
公正な営業とマーケティング	17		
個人・機密データとプライバシーの保護	18		

規範へのコミットメント



規範の使用

この規範は、倫理的な意思決定を行うための、私たちのガイドです。各セクションは異なるトピックを論じており、以下が含まれます：

それが重要な理由

そのトピックが重要である理由と、それが私たちの目的とどのように関連しているかについての説明。

その方法

当社の価値観に沿って行動するための実践的なガイド。このセクションには、職場で直面する可能性のある一般的な状況について論じた「自問自答」シナリオが含まれることがあります。

この規範は、既存の基準、ポリシー、およびガイドラインを補完することを目的としており、それらに取って代わるものではありません。私たちはこの規範を、適用される法律や規制と併せて適用し、この規範と現地の法律との間に矛盾がある場合は、より高い行動基準に従います。

この規範は、取締役や役員を含むすべての WTW 社員に適用されます。また、請負業者、派遣労働者、第三者、サプライヤー、代理店に対しても、本規範の基本原則を遵守することが期待されます。

サードパーティとは？

サードパーティとは、WTWによるビジネスの獲得および維持を支援する外部の組織または団体です。



声を上げる

当社の規範、ポリシー、または適用法に違反する可能性があることを観察した場合、あなたは知っていることを報告・通報する必要があります。あなたから報告・通報を受け取ると、WTWは合理的かつ実行可能な範囲で、その報告・通報を秘密裏に取り扱います。

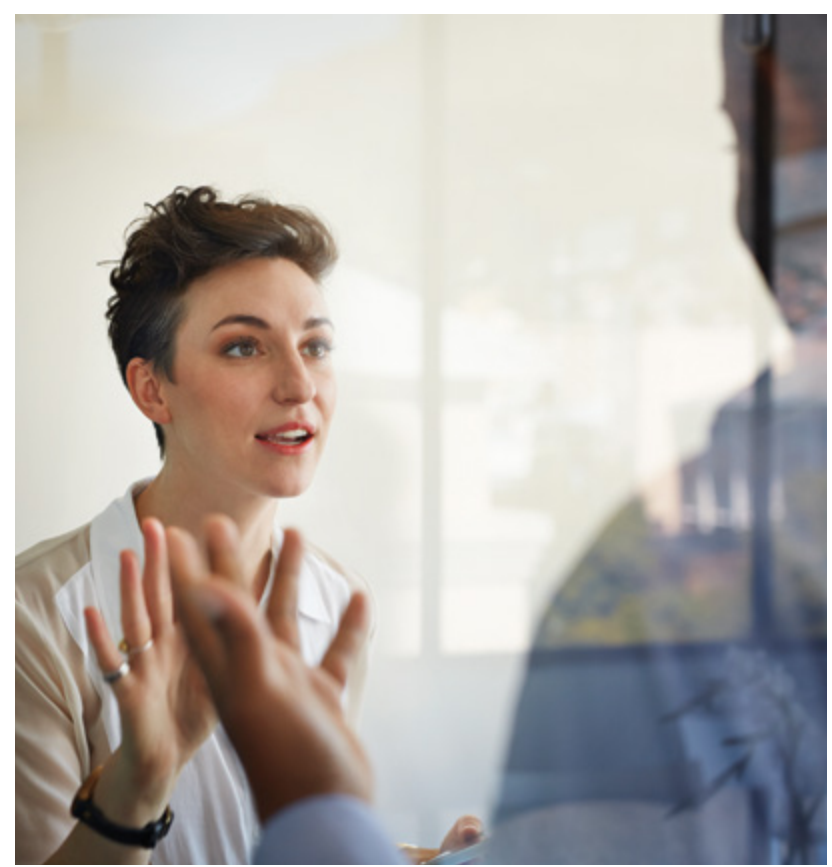
質問、懸念、または報告・通報については、次のリソースのいずれかに連絡してください。

1. ピープルマネージャー
2. 人事部門
3. コンプライアンス部門
4. 法務部門
5. WTWホットライン

[WTWホットライン](#)は、独立した外部機関によって提供されています。24時間365日、無料で利用できます。現地の法律で認められている場合、匿名の報告・通報も承認されます。[ここに](#)記載されている電話番号、[オンライン](#)、またはこのQRコードを使用してモバイル機器から懸念事項を報告・通報できます。



[グローバル内部通報ポリシー](#) →



規範の管理

WTWは、規範違反の報告・通報を適宜確認し、対応します。当社のポリシーまたは規範への違反が立証された場合、WTWは、雇用または契約の解除を含む、適切な懲戒処分を実施します。また、WTWは、法的措置または政府機関や規制当局への通知など、その他の適切な措置を取ることがあります。内部調査に協力し、WTWから求められる情報をすべて提供し、求められるインタビューに参加することは、あなたの義務です。

報復なし

私たちは、人々が安心して真の懸念を表明できる環境を作る責任があります。WTWは、合理的な信念に基づいて当社の規範、ポリシー、または適用法への違反を報告・通報した人に対する報復を容認しません。報告・通報を行った同僚や調査に参加した同僚に対して報復を行った者に対しては、雇用や契約の解除を含む懲戒処分を行います。

模範となる行動

ピープルマネージャーやその他のビジネスリーダーには、コンプライアンスと倫理に関する追加の責任があります。ピープルマネージャー:

1. 模範を示し、他の同僚に向けて倫理的行動をモデル化する
2. 会社のポリシー、慣行、およびトレーニングを確実に遵守する
3. オープンで誠実なコミュニケーションを促進する
4. 注意を引いた倫理的問題を報告・通報するために直ちに行動を起こす
5. 懸念を表明する同僚をサポートする



倫理的な意思決定

当社の規範は、あなたが WTW で直面する可能性のある状況すべてをカバーすることはできません。難しい決定に直面したときは、次のように自問してください。

それは合法だろうか？

いいえ

はい

わからない

それは、WTW の価値観、規範、およびポリシーと一致しているだろうか？

いいえ

はい

わからない

それが新聞やインターネットの投稿に掲載されたら、私や WTW は恥ずかしい思いをするだろうか？

いいえ

はい

わからない



互いへコミットメント



互いを尊重する職場の維持

私たちは互いを尊重する、ハラスメントのない職場を育みます。

それが重要な理由

WTWでは、すべての関係を公正かつ良識を持って管理しているため、優れたチームを惹きつけ、維持することができます。

ハラスメントとはどのようなものですか？

ハラスメントとは、他者をけなしたり、敵意や嫌悪感を示したりする行為です。威圧的、敵対的、または攻撃的な職場環境を作り出し、同僚の業績に傷をつけ、雇用に悪影響を及ぼす可能性があります。次の形態があります：

- ・ **言語的:** 不快なあだ名や中傷、不快な冗談や発言
- ・ **非言語的:** WTWの敷地内のいずれかまたはWTWの通信システムを通じて、他の個人またはグループを中傷したり、敵意や偏見を示す書面やグラフィック素材を任意の場所に配置または流布すること
- ・ **身体的:** 脅迫、威嚇、敵対的行為

セクシャルハラスメントには、以下の場合における歓迎されない性的な誘いかけ、性的好意の要求、その他性的な性質を持つ口頭または身体的な行為が含まれます：

- ・ 当該行為への服従が雇用の条件であること
- ・ 当該行為への服従または拒否が、雇用判断の根拠として用いられること
- ・ 個人の業務遂行を不当に妨害する行為であること
- ・ 当該行為が威圧的、敵対的または攻撃的な職場環境を作り出すこと

いじめには、他の個人に屈辱を与えたり、侮辱したり、威嚇したり、孤立させたりすることが含まれます。



その方法

互いを尊重します。常に尊厳と敬意を持って他者に接します。話す前に何を言うかを考えます。プロ意識と思いやりを持ち、他の人が不快に思うようなことは避けます。

性別、性自認または表現、人種、民族、障害、宗教、性的指向、婚姻歴、年齢、退役軍人の地位、家系、国籍、その他法律で保護されている特性に関連するハラスメントに**決して関与せず、許容もしません。**

声を上げてください!いじめやハラスメントを目撃したら、傍観してはいけません。お互いに声を掛け合い、通報しましょう。周りの人たちが安心し、歓迎されるようにすることは、あなたの、そしてみんなの仕事なのです。

詳細は
こちら

職場における相互尊重とハラスメント防止のポリシー →

差別の回避と平等な雇用の促進

私たちは、機会均等と実力に基づいて、公正な雇用決定を行います。

それが重要な理由

WTWは、差別のない環境を大切に考えています。私たちは、すべての候補者と同僚に、成功するための平等な機会を提供できることを誇りに思っています。

その方法

他者を公正に扱います。自分にしてほしいと思う方法で他の人を扱います。各人がチームにもたらすポジティブな資質と価値に注目します。

雇用の決定は、実力主義で行います。採用、研修、懲戒の決定、昇進の検討の際には、個人の長所を考慮します。雇用の決定において、違法な要因に基づいて差別をしません。

声を上げてください!差別に弁解の余地はありません。差別的な行為を目撃した場合、またはその疑いがある場合は、直ちに同僚を擁護し、その行為を担当マネージャー、人事、コンプライアンス、法務、または [WTWホットライン](#)に報告・通報してください。

詳細は
こちら

雇用機会均等ポリシー →



インクルージョンとダイバーシティのサポート

私たちは、多様な人材と、包括的で力を与える環境の整備に取り組んでいます。私たちは、互いに敬意を払いつつ、各人の違いをサポートし、尊重します。

それが重要な理由

私たちは、すべての社員が、自らの可能性を最大限に引き出して貢献できる環境の中で、本来の自分を毎日仕事に発揮できると感じてほしいと思っています。

その方法

多様なチームを構築します。多様性を考慮したチーム作りを心がけ、現実的な場合には、さまざまな背景や経験を持つ人々をまとめます。その結果、私たちの課題に取り組むためのツール、リソース、アイデアをより多く提供することができます。

聞いて、学びます。同僚の話に積極的に耳を傾けます。私たちは、互いの言葉を慎重に検討し、異なる見解や視点を持つ人々から学ぶ機会を歓迎すべきです。

インクルードします。誰もが歓迎され、自分らしさを発揮することのできる包括的な環境を育みます。

さまざまな能力を受け入れます。さまざまな能力の個人を受け入れます。それには、同僚と個々のニーズについて話したり、ワークスペースを整えてアクセシビリティを確保したりすることが含まれることがあります。

声を上げてください!自分の意見や他の人の意見が考慮されていない、または軽視されていると感じた場合は、懸念を表明してください。

自問する

周りを見渡してみてください。部屋にいる全員が自分が参加していると自覚できていますか？

- Q:** ピープルマネージャーから、地元のスポーツセンターでチーム育成ミーティングの企画を手伝ってほしいと頼られました。施設で利用できるアクティビティについて調べたところ、能力に差のある一部のチームメンバーが参加できないのではと懸念しています。どうしたらいいのでしょうか？
- A:** イベントを別の場所に移すことを検討し、時間をかけてさまざまな場所でのイベントを幅広く企画してください。

詳細はこちら

心理的安全性 →

健康、安全、安心の提供

WTWでは、社員こそが最大の資産です。彼らの安全を守ることは、私たちの最優先事項のひとつです。

それが重要な理由

リスクを減らし、職場の全員の安全を確保することで、仕事に集中し、怪我を防ぐことができます。

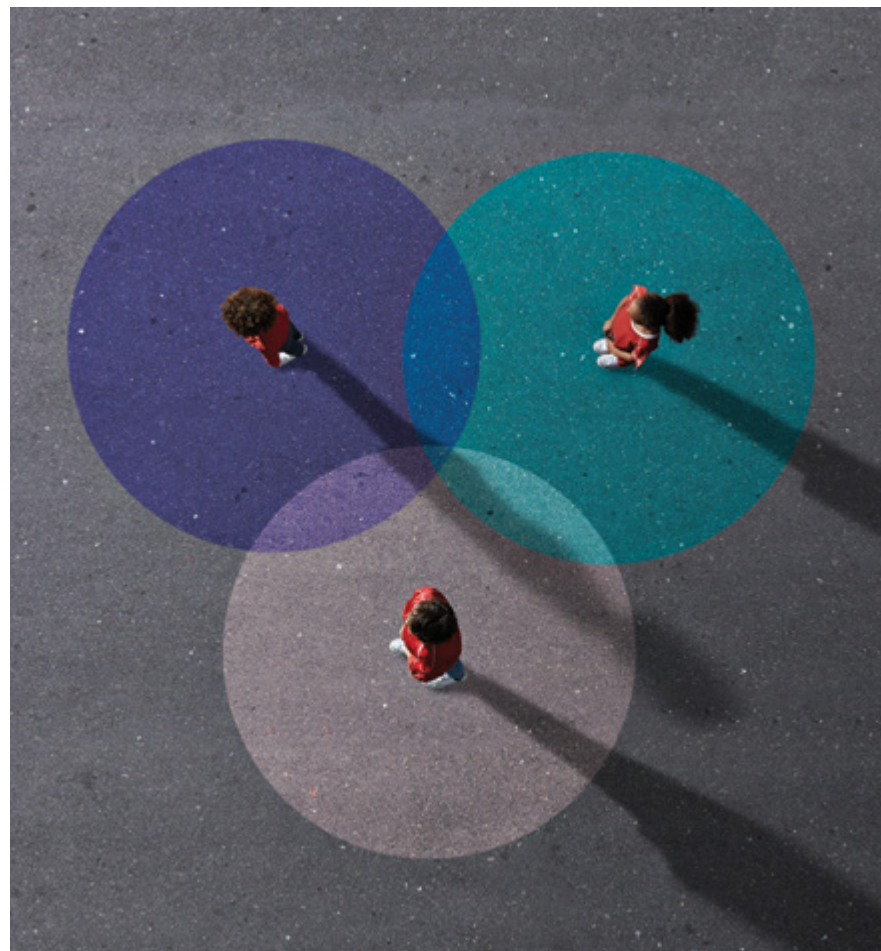
その方法

不必要なリスクは取りません。安全衛生に関するポリシーと手順を知り、それに従います。自分自身と同僚を大切に、危険な行動を避け、怪我やその他の緊急事態が発生した場合の対処法を理解します。

職場での暴力を報告・通報します。暴力には、脅迫、威嚇、他者に恐怖を植え付けようとする行為が含まれます。暴力の事件や脅威を知っている、またはその疑いがある場合は、直ちに上司、人事部、または [WTWホットライン](#) に報告・通報し、状況に応じて適切な場合は、地元当局に連絡してください。

薬物とアルコール

同僚の安全と安心のため、WTWでの業務中はアルコールや違法薬物の影響を受けてはなりません。アルコールが許可されている会社主催のイベントで、アルコールを飲むことを選択した法定年齢の社員は、プロとして行動することが期待されます。



お客様へのコミットメント



組織間利益相反の管理

私たちは、お客様の競合する利益を慎重に検討し、WTWとお客様との間の潜在的な利益相反を適切に管理します。

それが重要な理由

ビジネス、倫理、法律上の理由から、私たちはお客様の最善の利益のために行動し、WTWの利益をお客様よりも優先させている、またはあるお客様の利益を別のお客様の利益よりも優先させているという認識さえも避ける必要があります。

利益相反とは何ですか？

利益相反とは、異なる当事者が異なる、潜在的に競合する利益を有する状況です。

その方法

危険信号を知る。特に次の場合は、潜在的な競合を常に考慮して慎重に行ってください。

- 新規お客様との関係を開始する
- WTWが、あるお客様の利益を他のお客様よりも優先させる金銭的インセンティブを持つ場合がある
- WTWが、お客様の利益と相反する可能性のある特定のサービス、取引、または結果を追求する金銭的インセンティブを持つ場合がある

時間が経つにつれて相反が発生することもあるため、注意が必要です。ビジネス上の関係や機会が変われば、利益相反の可能性も出てきます。定期的に利益相反を見直し再評価します。

質問をして、潜在的な利益相反を管理します。利益相反が発生しそうな状況を監視し、どうしたらいいかわからないときは、コンプライアンス部門に質問します。利益相反の可能性がある場合は、上司および/またはコンプライアンスに相談します。

自問する

それはクライアントの最善の利益になりますか？

Q: 利益相反規程に違反することなく、WTWのファンドをお客様に推奨できますか？

A: はい。ただし、適合性評価および手続きを通じてファンドがお客様に適していると判断し、その他の該当するコンプライアンス手続きに従う場合に限ります。また、マーケティング資料や募集文書には、それがWTWファンドであることを明確に開示すべきであり、ファンドを推奨する同僚の報酬はWTWファンドの販売量に左右されるべきではありません。

Q: あなたは、あるお客様のアカウント管理に携わっています。このお客様は、WTWが保険会社から保険金支払い権限を与えられている保険に対して請求権を有しています。保険金請求処理に関わるべきでしょうか？

A: いいえ。これは利益相反になります。WTWは被保険者と保険会社の両方の代理を務めており、保険会社との関係を担当する同僚が保険金支払いの決定に関与しないように、職務を分離する必要があります。

詳細は
こちら

利益相反ポリシー →

報酬の開示

私たちは、当社のサービスに関連して受け取る報酬について、お客様に対してオープンで正直な立場をとります。

それが重要な理由

当社は、そのお客様に提供したサービスに関連して受け取るすべての報酬を、直接または要求に応じてお客様に開示します。そうすることで、お客様の信頼を維持し、法的義務を果たします。

その方法

秘密の利益を取りません。 現地の法律で義務付けられている場合、お客様から要請がある場合、または開示することが商慣習の場合、お客様の保険募集に関連して得られたすべての収益をお客様に開示します。

お客様に誤解を与えないようにします。 お客様や利用する市場について誤解を与えるようなことをしません。例えば、当社が市場に提供しているサービスのうち、私たちも報酬を得ているものを隠そうとはなりません。

あなたの上司に尋ねます。 当社がサービスの支払いを受け取る方法について疑問がある場合は、上司またはコンプライアンス部門に相談してください。



マーケット導出収益 (MDI)

MDIには、保険業者および保険市場としての役割を果たす他の保険会社からWTWが受け取った、通常の手数料またはコミッション以外の収益すべてが含まれます。なお、保険業者から受領するコンサルタント業務に関連する収益は含まれません。

MDIは、適切に開示しなければならない報酬の一例です。当社がMDIを受け入れることができるのは、潜在的な利益相反を特定して管理し、当社の独立した内部機構を通じて承認を得た場合だけです。

私たちは、お客様の最善の利益のために行動し、お客様の最善の利益ではなく、WTWの財務的利益のために特定の保険会社にビジネスを誘導することがないよう、適切な分離と管理が行われることを確認します。

詳細は
こちら

マーケット導出収益ポリシー →

公正な競争の支援

市場において、私たちは公正な競争を行い、サービスやソリューションの価値に依拠して成功を収めます。

それが重要な理由

私たちは競争を歓迎します。これにより、優れたソリューションを継続的に革新・開発してお客様のニーズに応えることが奨励されます。また、事業を展開する国の経済成長にも貢献します。私たちは、すべての競争法および独占禁止法に従い、公正な競争を維持します。

その方法

競争法を遵守します。これらの法律では、一般に、競合他社と取引を制限する可能性のある公式または非公式の協定を結ぶことが禁じられています。競合他社と話すときは、次のことを話し合うことは避ける必要があります：

- 価格決定、価格設定、またはその他の関連する競争上の機密情報
- 入札談合、入札、またはその他の関連する競争上の機密情報
- 当社または競合他社のお客様との契約の具体的な内容
- 市場、地域、お客様の分割または割り当て
- 人材市場における競合他社との賃金固定協定や引き抜き禁止協定

さらに、次のことも避ける必要があります：

- お客様やサプライヤーをボイコットすることに同意すること
- お客様が反競争的な取引または契約を締結することを支援すること

競合他社を含むグループには注意が必要です。業界団体や事業者団体に参加する際は、上記の禁止事項について議論しないでください。

自問する

それは公正な競争を制限するだろうか？

Q: ある事業者団体の会合で、同僚と私は競合他社に勤めている人と話していました。同僚が競合他社の社員と「特定の業界ではビジネスの分割を検討すべきだ」という意見で同意したことに、私は驚きました。握手をして、競合他社の社員は立ち去りました。同僚にそれが許されるのか聞いたところ、「大丈夫、心配することはない。」と言われました。本当ですか？

A: いいえ。お客様を分割するような契約は違法であり、その結果は深刻なものです。非公式な合意（握手など）であっても、不適切とみなされる可能性があります。こうした行為があった場合は、法務および/またはコンプライアンス部門に報告・通報してください。

詳細は
こちら

グローバルな競争と独占禁止に関するポリシー



競合他社の情報を責任ある仕方で収集する

私たちは競合他社の機密情報を尊重し、責任ある仕方で情報を収集します。

それが重要な理由

私たちは、市場、競合他社、およびそのサービスに関する情報を、透明性を持って倫理的に収集し、機密情報を悪用することはありません。

その方法

互いを尊重します。 他社の機密情報を尊重します。決して当事者の許可なく使用しません。

法務部門に相談します。 法務部門の審査および承認なしに、直接または間接的に競合他社から競争上の機密情報を取得することは許可されていません。



自問する

それは正しい方法で入手したものでしょうか？

Q: 私の同僚の1人は、かつて競合他社に勤めていました。新しいマーケティング戦略についてブレインストーミングを行っていたとき、同僚たちが競合他社の戦略について詳しく説明してくれました。どうして知っているのかと尋ねると、そこで働いていたときに知ったというのです。これは問題ですか？

A: その可能性があります。これが機密情報であれば、たとえ競合他社に雇用されていたときに合法的に知ったことだとしても、共有することは許されない可能性があります。法務またはコンプライアンス部門に報告・通報してください。

詳細はこちら

グローバルな競争と独占禁止に関するポリシー



法令遵守についての理解

私たちは、すべての業務において誠実に行動し、適用される法律や規制に従います。

それが重要な理由

企業として、私たちはどこで働いていても合法的かつ誠実に業務を遂行することを約束します。私たちは、適用される法律や規制に従ってビジネスを行うことで、地球市民としての役割を果たします。

その方法

法律を遵守します。あなたには、ビジネスを行う国の適用法と規制基準を知り、遵守する責任があります。

助けを求めてください。ある事柄の合法性や規制基準の適用について確信が持てない場合は、この規範または他のポリシーを参照するか、法務またはコンプライアンス部門に問い合わせてください。

完全な情報開示を行います。役割上必要な場合、WTWの事業および取引について、報告・通報書や文書にて、完全、正確、適時、かつ理解しやすい仕方で開示する必要があります。

専門的な資格やライセンスを維持します。あなたには、専門知識、能力、専門的地位を高める責任があります。これには、必要な資格とライセンスを常に取得しておくことも含まれます。ライセンスを受けていない活動に従事してはなりません。

違反を報告・通報します。適用される法律や規則に違反する疑いがある場合は、声を上げます。

詳細は
こちら

OGCのポリシーと手続き →

企業および個人のライセンスポリシー →



公正な販売とマーケティング

当社のマーケティングは、企業戦略に基づいています。当社のソリューションを販売するために、非倫理的な手段を用いる必要はありません。正直に売り込むことで、私たちは評判を守ります。

それが重要な理由

誠実で公正な取引に対する当社の評判を損なう可能性のある発言をしてはなりません。私たちは、お客様、そして私たち自身の利益のために、公正かつプロフェッショナルにサービスを提供します。

その方法

WTWのサービスについて正直に伝えます。 WTWのソリューションやサービスについて、お客様や見込み客と共有する情報は明確かつ正確で、誤解を招かないものでなければなりません。ビジネスを獲得または維持するために、欺瞞的な発言をしてはなりません。

競合他社のサービスについて正直に話します。 競合他社のサービスに関して虚偽の説明をしてはなりません。

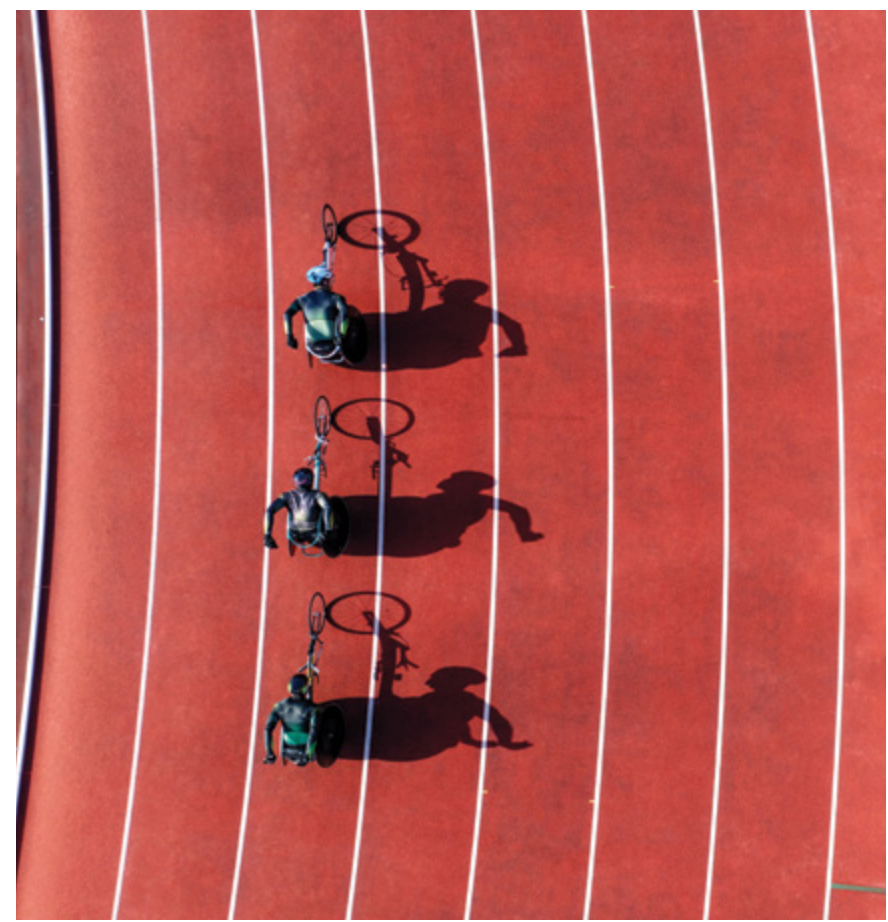
責任ある仕方で情報を共有します。 古い情報や不正確な情報、あるいは信頼できる情報源から十分に検証できない情報を共有したり宣伝したりしてはなりません。

頼もしい存在になります。 クライアントが理解できる明確な情報を提供します。



[グローバルな競争と独占禁止に関するポリシー →](#)

[金融プロモーションとマーケティング →](#)



個人・機密データとプライバシーの保護

私たちは、個人データを保護し、プライバシーの原則に従い、守秘義務を遵守することでお客様と同僚を保護します。

それが重要な理由

当社は、世界各国のデータ保護法およびデータプライバシー法の適用を受けています。これらの法律は、一般に、個人を特定できる情報 (PII) の収集、使用、処理、開示、および転送に適用されます。また、当社は機密情報に関するその他の法律の適用も受けています。私たちは、法律を遵守し、保護された個人情報や機密情報を保護することで、お客様と同僚の信頼を獲得し、維持します。

個人を特定できる情報 (PII)

個人を特定できる情報には、個人の氏名、電話番号、住所、国民識別番号、社会保障番号、銀行口座情報が含まれる場合があります。

その方法

責任ある仕方で個人を特定できる情報を収集し、使用します。法的要件を満たすため、または業務を円滑に進めるためにのみ個人を特定できる情報を収集・使用し、使用することが許可された方法でのみ個人を特定できる情報を使用します。新しい製品やサービスを使用・設計する際には、プライバシーへの配慮を心がけます。

個人を特定できる情報を保護します。業務でアクセスする個人を特定できる情報を保護します。事業運営上必要な場合を除き、本人の許可なく誰とも共有せず、安全で適切な通信手段のみを使用します (リモートワークも含む)。



詳細は
こちら

[グローバルプライバシーポリシー](#) →

[グローバル従業員個人情報保護通知](#) →

地域社会へのコミットメント



贈収賄や不正行為の回避

私たちは、誠実さ、正直さ、公平さ、透明性をもってビジネスを行います。贈収賄や不正行為に関与したり、贈収賄に関与するサードパーティと協力したりしません。

それが重要な理由

当社は、世界各国の贈収賄防止法や不正行為防止法の適用を受けており、これらの法律に違反した場合、多額の罰金、風評被害、お客様の信頼喪失、さらには企業や関係者の刑事告発につながる可能性もあります。

サードパーティとは？

サードパーティとは、WTWによるビジネスの獲得および維持を支援する外部の組織または団体です。

その方法

正しい方法でビジネスを行います。行わないこと:

- 相手の意思決定や行動に影響を与える (または影響を与えるように見える) 目的で、賄賂、謝礼、キックバック、円滑化のための支払い、または勧誘をいかなる形 (約束、雇用、寄付など) であれ提供すること
- 賄賂、謝礼、キックバック、支払い、または不適切な贈答品をいかなる形であれ受け取ること
- ビジネスを円滑に進めるために金銭を受け取る、または支払うこと
- この種の活動に単独で、またはあなたに代わって従事する可能性があることが疑われるサードパーティと協力すること。

支払いが後で賄賂として使われないようにします。あなたが利用するサードパーティ、サプライヤー、市場が当社の高い基準を維持していることを確認してください。支払いの一部が不正行為に使用されると思われる場合は、誰にも支払わないでください。

クライアントとサードパーティを監視します。すべてのデューデリジェンス、オンボーディング、承認手続きに従い、次のような危険信号に注意します:

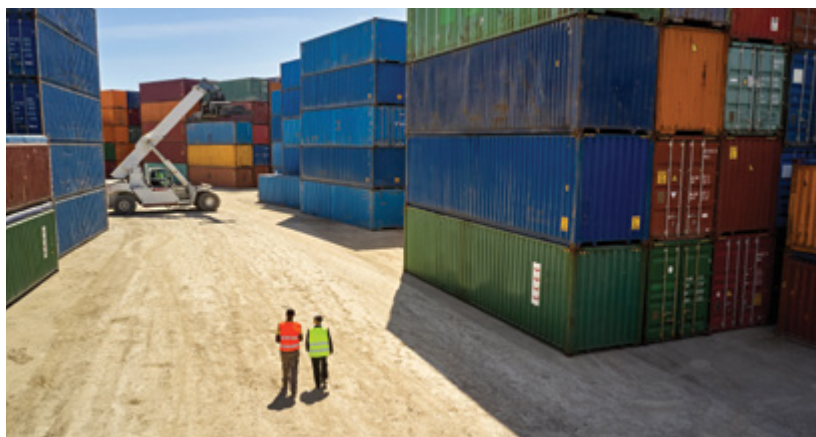
- 現金で、別の名前で、または別の国の住所への支払いの要求
- 取引に対して異常に高い手数料を要求するサードパーティ
- 当社に契約または優位性を与えるために政府関係者と直接協力しているというサードパーティ ([「政府関係者との協力」](#)参照)

正確に記録します。商取引の正確に記録します。これを怠ると、贈収賄や不正行為が発生しなくても法律違反となる可能性があります。

声を上げてください!不正行為が疑われる場合、または賄賂の申し出があった場合は、ピープルマネージャーおよびコンプライアンス部門に連絡してください。[WTWホットライン](#)に報告・通報することもできます。

贈収賄や不正行為の回避 (続き)

私たちは、誠実さ、正直さ、公平さ、透明性をもってビジネスを行います。贈収賄や不正行為に関与したり、贈収賄に関与するサードパーティと協力したりしません。



政府関係者との協力

政府や国営企業の職員や公務員とやり取りする際には、特に注意を払う必要があります。多くの国では、これらの個人への賄賂を明確に禁止する法律が制定されています。これらの法律の中には、広範囲に及ぶものもあり、他国で行われた行為にも適用されることがあります。グローバル企業として、私たちは事業を展開するすべての国で真摯に対応しなければなりません。

政府関係者には、政府機関、国有事業、国営企業の役員・従業員、政治家候補が含まれます。このカテゴリーには、本人の近親者も含まれます。

自問する

これが新聞の第1面に掲載され、あなたの名前やWTWについて言及されても問題はないですか？

- Q:** あるお客様のリスクマネージャーは、当社が新たなサードパーティと協力し、彼らに収益の半分を支払うなら、WTWとの契約を更新すると言います。WTWは、そのサービスを提供するためにサードパーティを必要としません。さらに、サードパーティには関連する経験がなく、リスクマネージャーのいとこです。どうしたらいいのでしょうか？
- A:** すぐにピープルマネージャーとコンプライアンス部門に連絡してください。リスクマネージャーは、サードパーティへの支払いに隠れて、賄賂を要求しているようです。

詳細は
こちら

贈収賄および不正行為防止ポリシー →

贈収賄および不正行為防止 -
サードパーティ承認手続き →

贈答品や接待のやり取り

私たちは、ビジネス関係を合法的に強化する方法を探します。ビジネス上の意思決定に影響を与える可能性のある、または影響を与えるように見える贈答品や接待を決してやり取りしません。

それが重要な理由

時折、ささやかな贈り物や合理的な接待を行うことは、ビジネスを行う上で通常のことであり、強固な関係を築く上で重要な場合があります。ただし、贈答品、イベント、食事、接待を授受する際には、一線を越えないよう、適切な判断を下す必要があります。

その方法

許可されていることを確認します。贈答品は、過剰なもの、贅沢なもの、自分または他人の意見や行動に影響を与える手段と見なされるものであってはなりません。特定の贈答品、イベント、食事、接待が受け入れられるかどうかについては、「WTW贈答品、イベント/接待および厚遇の手順」を参照してください。また、事業分野または地域に適用されるポリシー、規則、手順も遵守する必要があります。また、政府関係者に適用される追加の考慮事項があり、政府関係者に提供される贈答品、接待または厚遇には、コンプライアンス部門による事前承認が必要であることも忘れないでください。

しきい値を超えるものについては、承認を求めます。贈答品がWTW、WTWの社員、または他の当事者によって支払われたかどうかにかかわらず、あなたのビジネスに適用される許容しきい値を超える贈答品、イベント、接待または厚遇を受け取る前に、コンプライアンス部門に承認を求めてください。

自分が当惑するようなものを提供したり、受け取ったりしません。あなたがお客様に提供する、あるいはあなたが受け取るギフト、食事、イベント、接待について考えてください。では、それが公に開示された場合を想像してみてください。自問してください — あなた、相手、またはWTWが困ることになるでしょうか？もしそうなら、申し出ることも受け取ることもしないでください。

客観性に影響を与えるような贈答品や接待を授受しません。自分の判断や相手の判断に影響を与える、または与えるように見える贈答品、接待または厚遇の授受を行ってはいけません。また、すべての贈答品には正当なビジネス上の目的がなければならないことに留意してください。これは、贈答品、接待または厚遇の費用を、WTWが支払うか、社員が個人的に支払うかどうかに関係なく当てはまります。

自問する

それは「見返りを求めて提供されるもの (quid pro quo)」ですか？
他の人が見たらどう思うでしょうか？

Q: WTWは、お客様と契約更新の交渉をしています。お客様から、チケット1枚あたり200ドル相当の人気のあるスポーツイベントに連れて行ってほしいと頼まれました。クライアントをこのイベントに連れて行くべきでしょうか？

A: 贈答品、イベント/接待および厚遇の手順（該当するしきい値に関する事業ラインまたは地域に適用される手順を含む）、およびコンプライアンス部門の承認を求める必要があるかどうかを確認してください。この例では、チケットの金額はイベントのしきい値を下回っていますが、更新交渉のタイミングであるため、これが「見返り」または実際の賄賂と見なされる危険性があります。しきい値を下回っていても、コンプライアンス部門に相談する必要があります。

詳細は
こちら

贈収賄および不正行為防止 - 贈答品、イベント/接待、および厚遇の処理



制裁と輸出規制への対応

グローバル企業として、当社は事業を展開するあらゆる場所で、経済制裁、輸出管理、国際貿易に関する規制や制限を遵守する必要があります。

それが重要な理由

当社は140の国と市場でお客様を支援していますが、制裁、貿易制限、および輸出規制により、特定の国、業界、または個人との取引が禁止されています。これらの法律に従わない場合、深刻な結果になるため、すべての取引が適用される法律で許可されていることを確認する必要があります。

その方法

法律を理解します。 ビジネス取引を行う前に、制裁と輸出規制の対象となる国を確認します。これらの規制のいずれかに違反すると、国によっては犯罪となり、あなたやWTWが起訴、身柄引き渡し、投獄、罰金を含む深刻な結果にさらされる可能性があります。

助けを求めてください。 輸出管理または制裁のタッチポイントがある場所でビジネスを行うことを検討している場合、取引について**制裁チーム**に問い合わせてください。適用される制裁と輸出規制を特定し、それに従う点で支援が得られます。

詳細は
こちら

制裁・輸出管理ポリシー →

制裁対象国とのタッチポイント

制裁法は複雑です。制裁対象国とのタッチポイントがある場合は、常にコンプライアンス部門の**制裁チーム**に相談してください。

以下に例を示します：

- 制裁対象国の国民、または制裁対象国に所在または居住する個人
- 制裁対象国の政府
- 制裁対象国で設立された事業体
- 上記のいずれかが所有または管理する事業体
- 制裁対象国に関する技術またはコンサルティングサービスの提供
- 制裁対象国に関する旅行、飛行、輸出、または出荷

あなたの居住国がその制裁対象国との活動を許可している場合でも、制裁対象国とのタッチポイントすべてを**制裁チーム**に相談する必要があります。制裁が、国境を越えて適用される可能性があります。例えば、米国の制裁は、米国外においても、以下を含む多くの状況で適用される可能性があります：

- 米国籍を持つ社員（どこにいる場合でも）
- 米ドルまたは米国の銀行システムに関わる取引
- 当事者の一方が米国国民、米国法人、または米国法人の非米国子会社である取引

マネーロンダリング防止 (AML) とテロ資金供与防止 (CTF)

私たちは、マネーロンダリングやテロ資金供与を防止するための措置を講じます。

それが重要な理由

私たちは、適用されるAMLおよびCTF法を遵守し、厳しい法的処罰や風評リスクを回避します。これらの法律を守り、誠実にビジネスを行い、WTWとその利害関係者がマネーロンダリング、テロ資金調達、その他の金融犯罪に関与したり、助長したりしないよう行動することで、私たちはお客様から信頼を得ています。

マネーロンダリングとは何ですか？

マネーロンダリングとは、犯罪行為による「汚い」収益を「きれいな」お金に変えることで、その資金の出所を隠すプロセスです。テロ資金供与とは、テロ組織、集団、または行為に資金を提供する目的で、合法的な資金源と非合法的な資金源の両方から得られる資金を使用することが含まれます。

その方法

デューデリジェンスを実施します。デューデリジェンスを実施し、新規の見込み客、お客様、および第三者のKYC (本人確認) プロセスに従います。これにより、WTWが金融犯罪に巻き込まれるリスクを軽減しつつ、お客様とそのビジネスを確実に把握し、理解することができます。

不審な行動を報告・通報します。危険信号の例については、[マネーロンダリング防止 \(AML\) とテロ資金供与防止手順書](#)を参照してください。金融犯罪について知った場合、またはその疑いがある場合は、法務部門、コンプライアンス部門、マネーロンダリング報告・通報担当者、または [WTWホットライン](#) に報告・通報してください。

AMLおよびCTF危険信号 (レッドフラッグ) の例

- 合理的な理由なく、取引を突然または大幅に変更する
- 取引関係や取引に不必要な当事者を追加する
- 不透明な企業構造、KYC詳細の提供を拒否したり嫌がる、虚偽または古い情報を提供する
- 異常な支払い経路、現金での支払い、過払い、または違約金や解約金の支払いに応じる

詳細はこちら

マネーロンダリング防止とテロ資金供与防止ポリシー



責任ある政治参加

私たちは、地域のコミュニティに関わり、積極的に活動することで、周囲の人々の明日を変えていきます。

それが重要な理由

WTWは、社員の政治活動への参加を支援しますが、WTWが政治家候補の側についたり、当社の事業と無関係な問題で立場を取ったりすることはありません。

その方法

会社の時間ではなく、個人の時間を使います。 ボランティアや政治参加は自分の時間に行い、仕事中に外部の政治活動に従事することはしません。

WTWの代弁者にならないように気をつけます。 個人の政治的意見を決してWTWの意見として表明しないでください。

WTWの資金やリソースを使用しません。 資金、オフィススペース、設備、備品など会社の資産を、政治組織、政党、候補者、公務員に対して、当社との通常の商業的取り決めの範囲外で寄付しないでください。

ロビー活動に関する規則に従います。 ロビー活動を管理する規則は複雑で、解釈が難しい場合があります。法務部門の明示的な許可なしにロビー活動に従事しないでください。



人権の支援

私たちは、人々の公正な扱いを信じており、ビジネスのあらゆる面で人権を支持します。

それが重要な理由

WTWの同僚に公平で安全な労働条件を提供し、ビジネス全体で人権と職場の権利をサポートします。

その方法

虐待を容認しません。強制労働、非自発的労働、奴隷制度、人身売買、児童労働を絶対に容認しません。

安全で尊重される労働条件をサポートします。WTWのすべての社員、クライアント、サプライヤーのために、協力的で安全かつ敬意ある職場環境をサポートします。

声を上げてください!何かを見かけたら、何かしら声を上げてください。質問がある場合、または懸念事項を報告・通報する場合は、調達、法務部門、コンプライアンス部門、[WTWホットライン](#)に連絡してください。

詳細は
こちら

人権に関する声明 →

現代奴隷法の透明性に関する声明 →



脱税促進行為の防止

私たちは、誠実かつ公正にビジネスを行うことを約束します。当社の価値観が、脱税への容認しない（ゼロトレランスの）アプローチを支えています。

それが重要な理由

私たちは、税金を納めることで地域社会を維持し、法律を遵守しなければなりません。私たち一人ひとりに、WTW、同僚、関連会社による脱税および脱税の助長を見つけ、防止するのを支援する責任があります。

その方法

脱税に関与しません。WTWの社員はすべて、WTWを代表して脱税を図ることを禁じられています。

脱税を助長しません。他人の脱税を援助しません（お客様、サプライヤー、外部関係者を含む）。これは、あらゆる場所のWTW社員全員に適用されます。

私たちと約束を共有している他の人々と協力します。脱税を防止するというWTWの約束を共有しない個人や組織と協力しないでください。

ガイドラインを読みます。「脱税ファシリテーション防止ガイド」を読み、容認できない行動と脱税の可能性について理解してください。

声を上げてください!懸念事項があれば、ビジネスリーダー、法務またはコンプライアンス部門に報告・通報します。

自問する

この行為によって、お客様の脱税が可能になる可能性はあるでしょうか？

Q: ある長期的なお客様から、請求書を明らかに関係のない別の会社へ送付するように依頼されました。その会社が当社のサービスの代金を支払ってくれるということです。奇妙な依頼のようですが、長く付き合いのあるお客様なので信頼しています。どうしたらいいでしょうか？

A: すぐに報告・通報してください。請求書を他社に発行するようという依頼は、このお客様が脱税をしようとしている兆候かもしれません。このお客様と長年の関係を築いているのは良いことですが、お客様が違法行為に関与し始めているのであれば、すぐに対処して、法務またはコンプライアンス部門に報告・通報する必要があります。

詳細は
こちら

脱税ファシリテーション防止ガイド →

WTWへのコミットメント



個人の利益相反の管理

私的な利益が WTW に対する義務を妨害する、または妨害すると思われる状況を開示し、管理します。

それが重要な理由

利益相反があると、WTW またはお客様の最善の利益のためにビジネス上の意思決定を行うことが難しくなり、当社の評判を損なう可能性があります。

利益相反とは何ですか？

利益相反とは、異なる当事者が異なる、潜在的に競合する利益を有する状況です。

その方法

警戒心を持ち、潜在的な相反を見抜く力を身につけます。次の状況を回避または開示します：

- あなたまたはあなたの家族が、WTW およびそのクライアントに対するあなたの義務に影響を与える、または影響を与えるように見えるビジネス、財産、その他の資産に金銭的利益関係（競合他社の所有権など）を有している
- WTW の責任と相反する、または相反するように見える別の役職や機会（副業や役員など）を受け入れる
- 家族または親密な関係にある人物の採用または雇用に関する決定に関与している

WTW と競合したり、会社内での立場から得たビジネスチャンスを自分自身や家族のために利用したりしてはなりません。

[社外取締役承認申請フォーム](#)を使用して承認を求めるとなく、社外団体の取締役/役員またはそれに類する任命を承諾しないでください。

質問をして、潜在的な利益相反を管理します。利益相反が発生しそうな状況を監視し、どうしたらいいかわからないときは、コンプライアンス部門に質問します。利益相反の可能性がある場合は、関連するポリシーに従って、ピープルマネージャーまたはコンプライアンス部門に開示します。個人的な利益相反があることは本規範への違反ではありませんが、それを開示しないことは違反となります。

自問する

WTW での仕事に支障をきたす可能性はありますか？

- Q:** 私の叔父は、WTW のベンダーになるために競争入札を行っている会社のオーナーです。これは競争入札なのですが、関係を開示する必要がありますでしょうか？
- A:** はい。WTW のビジネス上の利益と相反する可能性のある家族関係を開示する必要があります。開示したからといって、必ずしも取引関係が利益相反と判断されるわけではありません。WTW により相反と判断されても、当社がそれを管理することがあります。

利益相反ポリシー →

利益相反に関する一般的なガイド →

外部雇用承認申請フォーム →

社外取締役雇用承認申請フォーム →

詳細は
こちら

正確な記録の維持と完全な情報開示の準備

私たちは、責任あるビジネス上の意思決定を行い、会社に関する真実の情報を提供できるように、正確な記録を保持します。

それが重要な理由

倫理的、ビジネス的、法的な観点から、私たちは、帳簿、記録、会計を適切に作成および管理し、すべての取引を適時に反映する必要があります。財務記録は、正確かつ完全で、一般に認められた会計原則および確立された財務・会計ポリシーに従っていないと、開示は完全かつ正確でなければなりません。

その方法

正直に記録します。 帳簿や記録、会計士、監査人、政府関係者、外部関係者（お客様、サプライヤー、債権者、規制当局など）に対して、虚偽または誤解を招くような記載をしません。

記録を徹底します。 会社の公式な帳簿や記録の中で、取引を慎重かつ完全に記録します。会社の取引を記録するために、「簿外」勘定を使用することはできません。

合理的に行動します。 各取引（例：事業費、時間料金）は、有効な事業目的があり、適切な文書で裏付けられている必要があります。お客様は、適用されるお客様契約に従って、すべてのお客様請求書を作成し、提出する必要があります。

監査人に対して誠実さを示します。 社内および社外の監査人に対して、強要する、操作する、誤解を招く、または不正に影響を与えるような行為をしてはなりません。

完全な情報開示を行います。 役割上必要な場合、報告・通報書、文書、および公的書類において、WTWの事業および取引について、完全、正確、適時、かつ理解しやすい方法で開示する必要があります。

WTWが承認した通信手段を使用します。 テキストメッセージ、WhatsApp、WeChat、またはWWWが承認していない同様のプラットフォームを使用して、ビジネスに関するコミュニケーションを取ることを避けます。クライアント、ベンダー、その他の商業団体が係るプラットフォームの使用を主張する場合、通信および関連する記録を再ルーティングまたは保存するための措置を講じます。詳しくは、WTWビジネス向けのインスタント/エフェメラルメッセージングプラットフォームの使用に関するポリシーを参照してください。

レコードマネジメント

法律で要求され、かつビジネスに必要な記録をWTWが確実に保持できるよう、あなたの業務に適用されるレコードマネジメントポリシーに従う必要があります。特定の状況では、法務部門が記録保存通知を発行する場合があります。あなたはそれに記載された要件を遵守する必要があります。適用されるレコードマネジメントポリシーまたは記録保存通知に関する質問は、法務部門に問い合わせてください。

詳細は
こちら

WTWビジネス向けのインスタント/エフェメラル（一次表示の）
メッセージングプラットフォームの使用に関するポリシー →

レコードマネジメントポリシー →

機密・専有情報の保護

私たちは、会社の機能と繁栄を可能にする機密情報を保護することで、WTWの成功を支援します。

それが重要な理由

当社の成功は、サービスを開発し、お客様を引きつけ、維持し、競争優位性を維持する能力にかかっています。これらの目的を達成する上で当社が依拠しているのは、機密情報、知的財産（企業秘密、著作権、プロセスを含む）、および知識です。専門知識と創意工夫で問題を解決し続けるためには、これらの情報を保護する必要があります。

知的財産と著作権

当社は、外部の当事者が所有し、知的財産法およびライセンスで保護されているさまざまな製品を使用しています。他者が当社の知的財産権を尊重することを期待すると同様に、私たちも他者の知的財産権を尊重しなければなりません。決して行ってはならないこと:

- 事前の許可なく、著作物を無断で複製、使用、展示すること
- 著作権で保護された素材を許可なく社内または社外に配布すること。これには、イントラネットやネットワークドライブに資料を掲載することも含まれます。

著作権の対象となる素材には、ウェブページ、ソフトウェア、ツール、データベース、記事、アートワーク、ビデオ映像などがあります。

その方法

開示する内容に注意します。一般に、機密情報や専有情報を保護するために、次のことを行う必要があります。

- 退職後も、許可された場合を除き、機密情報を開示しない
- お客様のために行う業務の具体的な内容など、機密事項を社外の関係者と協議しない、およびWTWのビジネス情報をメディアと共有しない
- 電車、飛行機、レストランなど公共の場で、お客様に関する話をしない（特定のお客様にサービスを提供していることも機密事項となる場合があります）、デスクを整理整頓された状態に保つ
- 機密情報を社外に持ち出したり、送信したりするときは、電子的であれ紙であれ、注意する
- 合併や買収など、特に機密性の高いプロジェクトに適用される追加の保護措置に従う

業務遂行上、機密情報の開示が必要な場合は、機密保持契約を利用します。場合によっては、情報を開示する前に、お客様や外部の関係者に秘密保持契約書に署名していただく必要があります。機密保持契約を要求したり、機密情報を社外と共有したりする前に、法務またはコンプライアンス部門に相談してください。

責任ある証券取引

私たちは、社内でも社外でも、正直さと誠実さをもって業務を遂行します。金融市場で(お客様、WTW、または自身のアカウントで)取引する場合、責任を持って行い、市場における不正行為やインサイダー取引には決して関与してはなりません。

それが重要な理由

インサイダー取引とは、重要な非公開情報に基づいて有価証券を取引することです。当社が活動する多くの国で、これは違法とされています。これらの法律は、取引金額の多寡にかかわらず適用されます。

内部情報の例

以下に関連する情報:

- 合併・買収
- 経営幹部の交代
- 決算またはガイダンス
- 事業拡大計画
- 重要な新規お客様や新製品
- 重大なサイバー攻撃

その方法

内部情報に基づいて有価証券を売買してはなりません。これは、お客様、サプライヤー、パートナー、競合他社を含む、WTWおよび他の企業の有価証券の取引に適用されます。

守らなければならない規則を知ります。事業部門によっては、お客様の有価証券の取引に関する追加規則があります。詳しくは、コンプライアンス部門に相談してください。

直接・間接を問わず、内報することは控えます。インサイダー取引法は、非公開の情報を友人や家族、その他の人と共有する場合にも適用されます。これは「ティッピング (内部情報に基づく取引)」と呼ばれ、違法なインサイダー取引の一形態と考えられています。

自問する

これは非公開の情報でしょうか?共有してもかまいませんか?

- Q:** あるクライアントから、まだ公表されていない大きな合併を計画しているという話を聞きました。友人とのパーティーでその話をしました。翌週、そのうちの一人が、合併に先立ちクライアントの株を買ったと言いました。これはインサイダー取引にあたるでしょうか?
- A:** はい。たとえ意図的でなかったとしても、あなたが友人に情報を「内報した」ことで、友人は証券を購入したのです。すぐに法務またはコンプライアンス部門に報告・通報する必要があります。

詳細は
こちら

インサイダー取引ポリシー →

会社資産の使用

有形・無形の資産を保護することは、当社の成功に不可欠です。

それが重要な理由

私たちはWTWの資産を、責任を持って、合法的な目的のためにのみ使用する義務があります。私たちは資産を損失や不正使用から保護します。有形・無形の資産には、施設、機器、ソフトウェア、備品、情報、知的財産などが含まれます。

その方法

WTWのシステムおよび機器を責任を持って使用します。ビジネス上の理由でWTWの資産を使用します。WTWのビジネス上の利益や運営に抵触せず、会社のポリシーに違反しない限り、システムや機器の限定的な個人使用が可能です。

WTWの金融資産を責任を持って使用します。会社の金銭を使う必要がある場合、費用が妥当であることを確認し、すべての旅費、経費、および購買のガイドラインに従い、すべての金融取引の記録を維持してください。

会社の資産を無断で持ち出しません。これには、会社での雇用が終了した場合、あなたの所有または管理下にあるすべてのWTWの資産および資料を会社に返却することが含まれます。WTWのポリシーや法律に違反して会社の資産を削除したり保持したりした場合、懲戒処分を受け、法的措置の対象となることがあります。

詳細は
こちら

情報およびサイバーセキュリティに関するポリシー →



責任あるコミュニケーション

私たちは、同僚、一般市民、メディア、政府機関に対してコミュニケーションをとる際に、クライアント重視、チームワーク、誠実さ、敬意、卓越性という当社の価値観を反映した一つの声で話します。

それが重要な理由

誠実であるという当社の評価を維持するため、私たちのコミュニケーションは、当社の事業運営、取引および計画について、正確、誠実かつ一貫した全体像を示すものでなければなりません。WTWのスポークスパーソンに指名されていない限り、WTWを代表して社内または公共の場で発言することはできません。

その方法

社内のコミュニケーションに関する質問は、社内のコミュニケーションとチェンジマネジメント (ICCM) へ問い合わせてください。社内のコミュニケーションについて、リーダーや社員が要望や必要性を感じる場合は、ICCM を紹介してください。

財務に関する質問は、投資家向け広報窓口にお問い合わせください。投資家、証券アナリスト、その他の主要な財務担当者から情報提供を求められた場合は、投資家向け広報窓口を紹介します。

報道機関からの問い合わせは社外コミュニケーション部門を紹介します。報道関係者から連絡があった場合は、社外コミュニケーション部門を紹介します。

責任を持って政府機関とコミュニケーションを取ります。WTWを代表して政府または規制機関と連絡を取ることができるのは、法務またはコンプライアンス部門から特定の権限を与えられた場合のみです。自らの役割における通常の責任として許可されている場合を除き、お客様の承認と法務部門の承認なしに、お客様に代わって政府機関とコミュニケーションを取るとは絶対に避けてください。WTWを代表する「法的手続きの送達」(文書の召喚状、宣誓証言の通知、尋問の要求) に対する回答は、法務部門と協議した後のみ行うことができます。さらに、WTWを代表して回答するよう求められる規制または政府の調査、照会、監査については、速やかに法務部門に通知してください。



詳細はこちら

社内のコミュニケーションとチェンジマネジメント →

社外とのコミュニケーション →

ソーシャルメディアの利用

私たちは、個人的な使用を管理し、WTWを代表して発言しないよう注意することにより、責任を持ってソーシャルメディアを使用します。

それが重要な理由

ソーシャルメディアは、利害関係者や地域社会とコミュニケーションを図るための膨大な機会を提供します。これには、投稿、コメント、ブログ、SNS、写真・動画共有サイト、チャットルームなどが含まれます。ソーシャルメディアにおける私たちのコミュニケーションにより、企業としての評判が高まることも損なわれることもあります。私たちは、賢明にかつ責任を持って使うよう注意する必要があります。

その方法

ソーシャルメディアを使用する場合に絶対にしてはならないこと:

- WTWを代表した発言をする。権限を付与されない限り、WTWを代表した発言または行動をしているような誤解をまねく行為はやめてください。
- 企業責任により、慈善プログラムとソーシャルメディアの投稿が正式に承認されていない場合に、WTWを代表した形で寄付を受け付けたり、募集ページにソーシャルメディアリンクを投稿したりする。
- 機密情報を漏らす。ソーシャルメディアの投稿、メッセージ、フォーラムで機密情報を漏らさないように注意してください。

この規範は、オンラインでも適用されることを覚えておいてください。オンラインでも、実際に対面して会うときと同じように、規範の原則に従う必要があります。

当社のソーシャルメディアガイドラインに従ってください。あなたのビジネス分野において、ソーシャルメディアのガイドラインおよび慣行を確認し、より制限の厳しいものを遵守してください。

声を上げてください!WTWの技術または電子通信の不適切な使用を報告・通報してください。



詳細は
こちら

ソーシャルメディアに関するガイドライン →

情報およびサイバーセキュリティに関するポリシー →

WTWビジネス向けのインスタント/エフェメラル(一次表示の)メッセージングプラットフォームの使用に関するポリシー →

免責事項またはポリシー に関する問い合わせ

本規範の免除や適用除外が行われることは稀(まれ)であり、それは例外的な状況においてのみ認められます。社員に対する免除や適用除外の要請は、法律顧問またはグローバル最高コンプライアンス責任者に提出する必要があります。執行役員およびWillis Towers Watson plc取締役の免除または適用除外を要請する場合は、Willis Towers Watson plcの取締役会に要請を提出する必要があります。

本規範またはWTWポリシーの要件の意味で曖昧さや不確実な点が見られる場合は、法律顧問またはグローバル最高コンプライアンス責任者に連絡してください。



ポリシーの説明

本規範は、WTWの業務遂行を規定する基本原則および主なポリシーと手順を示したものです。これは、社員、当社のお客様、サプライヤー、競合他社、株主などの社外の関係者に権利を与えることを意図したのではなく、それらの権利を創出するものでもありません。かかるいずれの当事者も、ここに記載された事項に関するWTWの表明や保証としての本規範の採択やその条項の説明の解釈を行うことはできません。

WTWについて

WTW (NASDAQ: WTW) は、人、リスク、資本の分野で、データ駆動型かつインサイトを活用したソリューションを提供しています。世界140カ国と市場でサービスを提供する社員のグローバルな視点とローカルの専門知識を活かし、お客様の戦略を強化し、組織のレジリエンスを向上させ、社員のモチベーションを高め、パフォーマンスの最大化するお手伝いをします。お客様と肩を並べて働くことで、サステナブルな成功の機会を発見し、お客様の心を動かす視点を提供します。詳しくは、[wtwco.com](https://www.wtwco.com) をご覧ください。



[wtwco.com/social-media](https://www.wtwco.com/social-media)

Copyright © 2023 WTW. All rights reserved.

[wtwco.com](https://www.wtwco.com)

